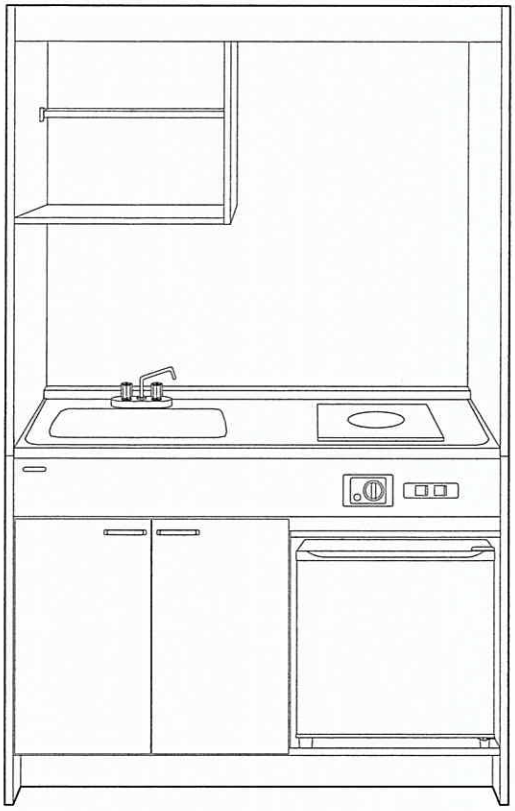
タカラ　コンパクトキッチンKUW型

設置説明書



もくじ

1．設置される方へのお願い……1
2．安全上のご注意……2～3
3．設置前のご確認……4
4．設置方法……5～11
5．仕上げ……11
6．安全点検および試運転……11
7．お願い事項……11

1．設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ビルトインされる機器類および水栓金具については、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。
- 電気配線工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 給排水工事は必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

●１００Ｖ用電気コンロ・１００Ｖ用ＩＨヒーター・冷蔵庫（オプション）・電気温水器（オプション）・照明器具には交流１００Ｖ以外の電源は絶対に使用しないでください。
●２００Ｖ用電気コンロ・２００Ｖ用ＩＨヒーターには交流２００Ｖ以外の電源は絶対に使用しないでください。

●火災、感電の原因となります。

●電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

●接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

●電気配線コードは電気コンロ・ＩＨヒーターに絶対に接触しないようにしてください。

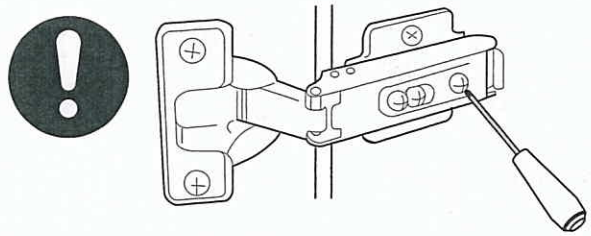
●火災、感電の原因となります。

●キャビネット内のコンセントは、当該機器（電気コンロ・ＩＨヒーター・冷蔵庫・電気温水器）以外には絶対に使用しないでください。

●火災、感電の原因となります。

⚠注意

●設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。

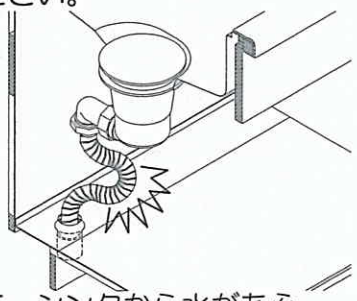


●扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをする恐れがあります。

●設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

●誤った使い方をすると、人体に影響がてたり、使用部材の損傷や劣化の原因のなる恐れがあります。

●排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



●排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

●キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・換気扇・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。

●設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。

●排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

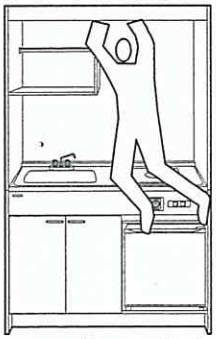
●取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐る恐れがあります。

●電気配線は１００Ｖ・２００Ｖとも必ず２０Ａ、アース付のものを使用してください。

●電気機器が正常に作動しなかったり、故障する恐れがあります。

快適な使用環境を確保するために必ずお守りください。

●取付工事中、天板及びシンクの中などに乗らないでください。



●天板、シンクに傷がつく恐れがあります。

●工具類を天板、キャビネットに落としたり当てたりしないでください。

●傷がついたり、欠けたりする恐れがあります。

3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●キャビネット固定ネジ打ち位置の壁面に、十分な強度をもつ木質の下地桟があることを確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がキャビネット間口より長いことを確認してください。
●下記の項目についてその位置を確認してください。
（1）給水給湯管・排水管位置　　（3）換気扇（オプション）の排気口位置
（2）建築側のガス管・電気配線接続位置　（4）機器類の電気配線位置
●電圧（１００V、２００V）、周波数（50Hz、60Hz）、ガス種を確認してください。
・１００V（２０A・アース付）の電気配線があることを確認してください。
・２００V用加熱機器の場合は、１００V（２０A・冷蔵庫対応の場合はアース付）と２００V（２０A・アース付）双方の電気配線があることを確認してください。
・電気温水器を設置する場合は、１００V（２０A・アース付）の電気配線が上記配線とは別系統であることを確認してください。
●商品に下記の付属部品があるか確認してください。
●オプション品については、付属の説明書をお読みください。

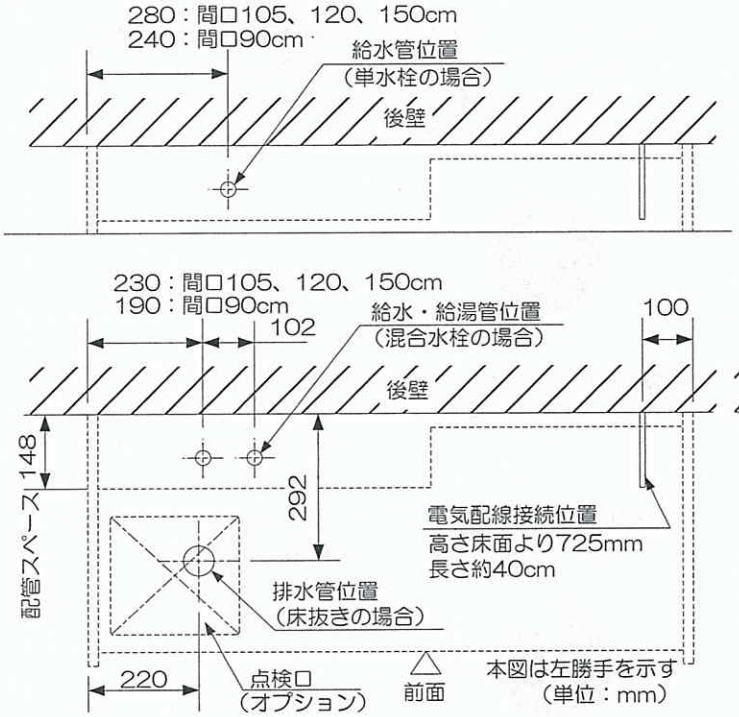


図１：平面図（天井からみたところ）

※壁面取付桟として間口方向に床面より1920mmの位置に巾40mm以上・厚み15mm以上の下地を用意してください。
※排水を背板方向へ抜く場合は、給水・給湯管との取合いに注意してください。

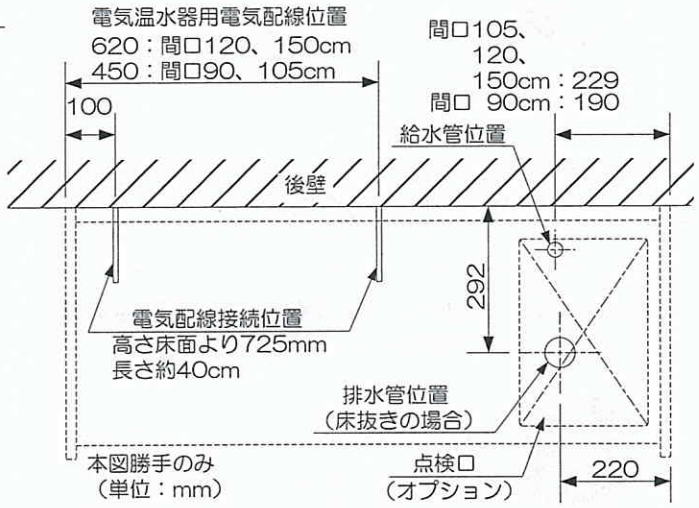


図２：電気温水器対応タイプ平面図
（天井からみたところ）

付属部品内容	数 量	備　　考
取扱説明書	1	
設置説明書（本書）	1	
電気コンロ取扱説明書	1	電気コンロ仕様の場合のみ
電気コンロ保証書	1	電気コンロ仕様の場合のみ
水栓本体	1	水栓別途の場合はなし
水栓用ツルクビ	1	水栓別途の場合はなし
水栓下地	1	水栓別途の場合はなし
側板エッジ	2	
木口エッジ	2	
L金具	2	
排水フタ	1	
トラスタッピンネジ（3.5x16）	6	
トラスタッピンネジ（3.5x35）	4	

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1．下台キャビネットの設置 → 2．上台キャビネットの設置 → 3．照明器具及び周波数切換えの確認 →
4．キャビネットと天板のシール → 5．換気扇（オプション）の設置 → 6．電気配線接続 →
7．排水部品の取付 → 8．給水、給湯管と水栓の接続 → 9．加熱機器（ＩＨヒーター・ガスコンロ）の設置 →
１０．冷蔵庫（オプション）の設置 → １１．電気温水器（オプション）の設置

1．下台キャビネットの設置

①水栓の取付（図３参照）
・水栓がキャビネットに付属されている場合
水栓本体を天板水栓穴に差し込み、水栓下地をはさんでナットで固定してください。
水栓用ツルクビを水栓センターの穴に差し込み、ナットで固定してください。
・水栓が別途に用意されている場合
水栓の設置説明書にしたがって、水栓を天板に取り付けてください。（水栓下地は天板に取り付けてあります。）
②排水配管用及び給水・給湯管用の穴あけ（図１、２参照）
排水管位置に合わせてキャビネットの底板に排水管用の穴をあけてください。
電気温水器対応タイプの場合は、給水管位置に合わせてキャビネットの底板に給水管用の穴をあけてください。
③電気配線の引き込み
キャビネット背板の点検口フタをはずし、電気配線を内部に引き込んで設置位置付近に仮置きしてください。
電気配線を引き込んだあと、点検口フタをもと通りに取り付けておいてください。
④扉・背板点検口フタの取りはずし
（冷蔵庫オプション対応タイプのみ　図３参照）
冷蔵庫設置箇所（加熱機器下）の扉、扉取付桟、背板点検口フタ、点検口取付桟を取りはずしてください。側板にあいている扉取付桟の取付ビス穴は、パテで埋めて補修してください。

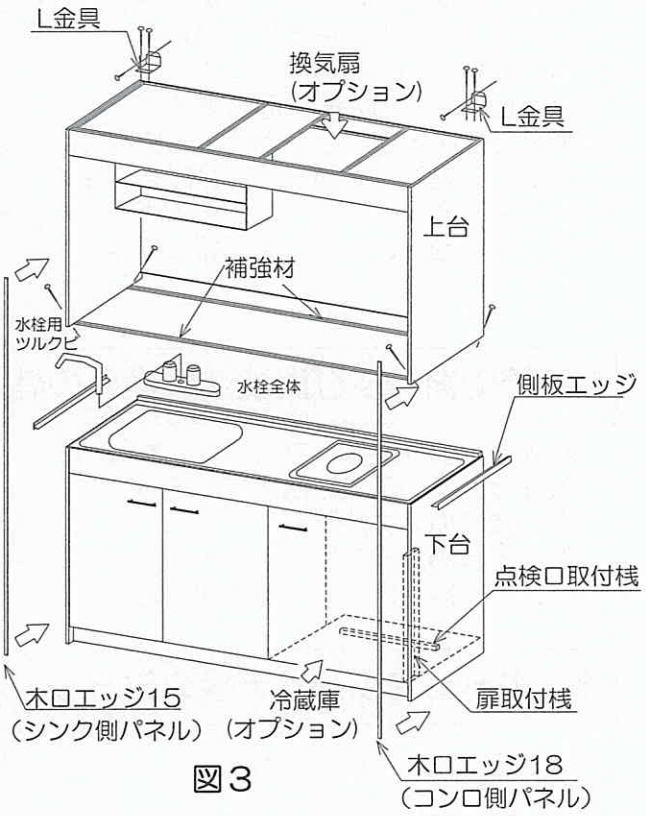


図３

2．上台キャビネットの設置

①補強材の取りはずし及び照明器具用コードの引き下げ
（図３、５参照）
梱包用の補強材（２本）をはずしてください。上台の天板に固定している照明器具コードをはずし、背面より下へ垂らしておいてください。
②下台と上台の連結（図３、４参照）
下台の上に上台を設置し、側板エッジを下台と上台の間に前面より4mmひかえてはさみ込んでください。
下台と上台キャビネットの前後レベル・左右レベルを合わせたのち、上台側板前面及び後面の連結穴より付属のネジ（トラスタッピンネジ3.5x35）４本で固定してください。
※前面からのネジを途中まで打ち込み仮固定したのち、後面のネジを固定、最後に前面からのネジを固定すると前　後のレベルがずれることなく固定できます。

ご注意：連結された後、移動をおこなう場合は必ず下台をもって、おこなってください。

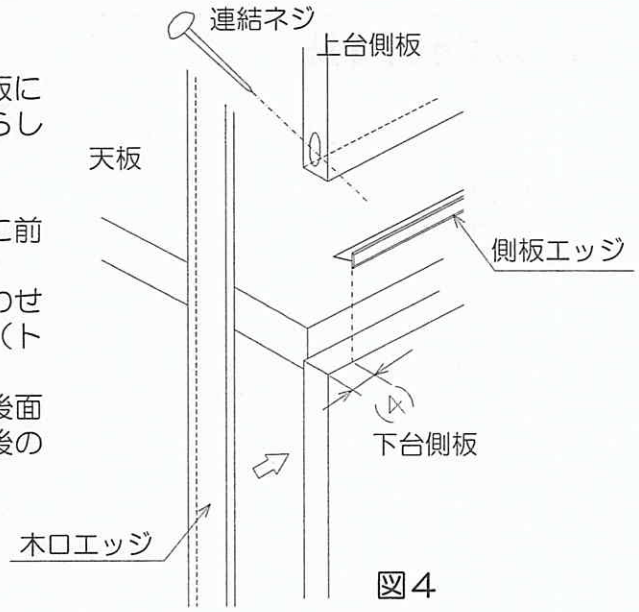
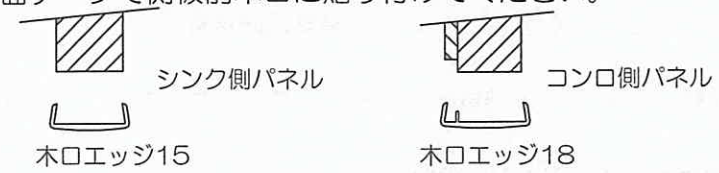


図４

③木口エッジの取付（図３、４参照）
木口エッジ（付属部品）はシンク側パネル用の木口エッジ１５とコンロ側パネル用の木口エッジ18があります。連結したキャビネットの側板高さに合わせて切断し、裏面の両面テープで側板前木口に貼り付けてください。



ご注意：エッジと側板前木口との間に浮きが発生する場合は、ゴム系接着剤等でしっかりと固定してください。

④換気扇コードの引き上げ（図５参照）
下台の背面に固定している換気扇コードをはずし、たるまないように背面から上方へ引き上げ、上台の換気扇取付用穴から垂らしておいてください。

⑤キャビネットの設置（図３参照）
連結したキャビネットを所定の位置に設置し、上台の天板後面にＬ金具（付属部品）２個を付属のネジ（トラスタッピンネジ3.5x16）４本で取り付けてください。取り付けたＬ金具をかいして、後壁面に付属のネジ（トラスタッピンネジ3.5x16）２本で固定してください。

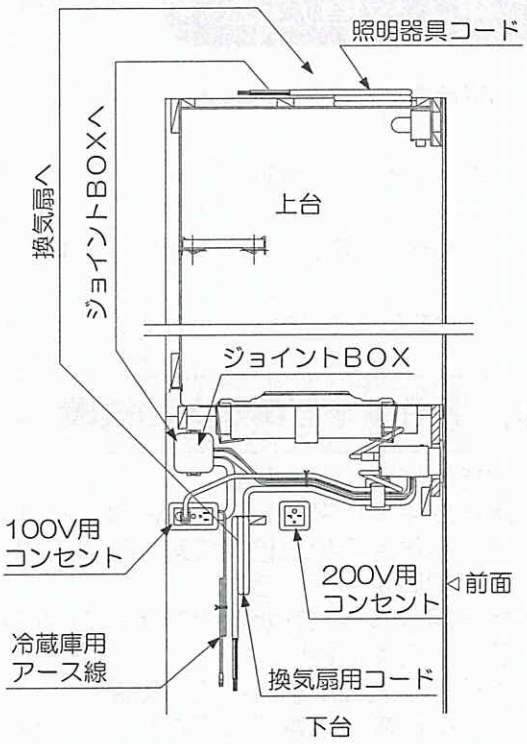


図５

3．照明器具及び周波数切換えの確認

①蛍光ランプ固定テープの取りはずし
蛍光ランプの両端に貼ってあるランプはずれ防止テープを取り除いてください

②周波数切換えの確認
照明器具の周波数は、５０Ｈｚにセットされていますので、ラベルに表示の６０Ｈｚ地域でご使用の場合は、照明器具についてある切換えスイッチを６０Ｈｚにセットしてください。

4．キャビネットと天板のシール

キャビネットと天板の目地をシリコンでコーキングしてください。

5．換気扇（オプション）の取付

換気扇の設置説明書にしたがって、換気扇を上台の天板に取り付けてください。

6．電気配線接続

ご注意：接続工事は必ず電気工事店等の「有資格者」に依頼してください。

①電源電線の接続

②電気配線の接続
図６にしたがって、電気配線をジョイントＢＯＸ内のフルコネクターに接続してください。

③電気配線の接続（２００Ｖ用電気コンロ・２００Ｖ用ＩＨヒーターの場合）
図６にしたがって、電気配線を２００Ｖ用コンセントに直接結線してください。

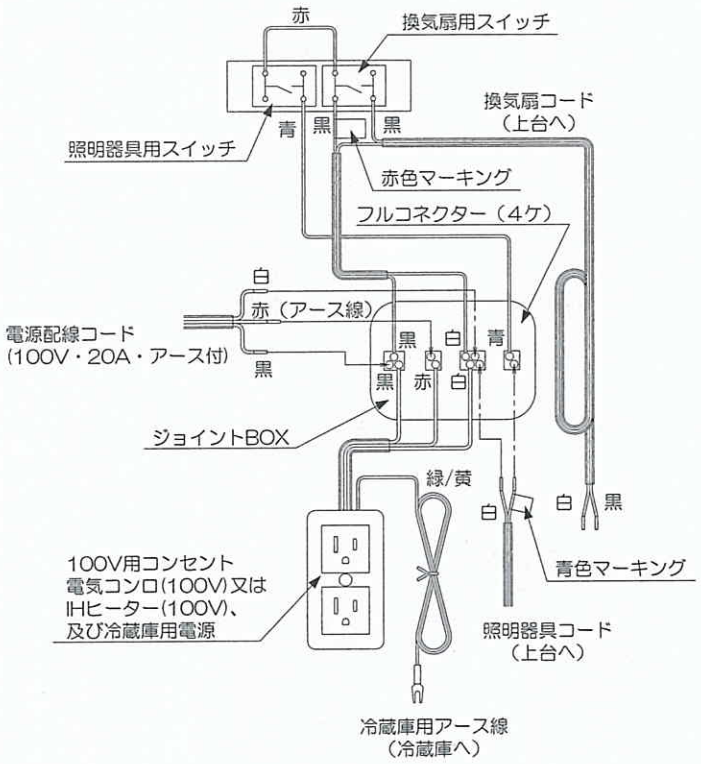
④電気配線の接続（電気温水器（オプション）を設置する場合）
図６にしたがって、電気配線を１００Ｖ用コンセントに直接結線してください。

⑤照明器具コードの接続
図６にしたがって、照明器具コードをジョイントＢＯＸ内のフルコネクターに接続してください。

⑥換気扇（オプション）コードの接続
図６にしたがって、換気扇コードを換気扇に接続してください。

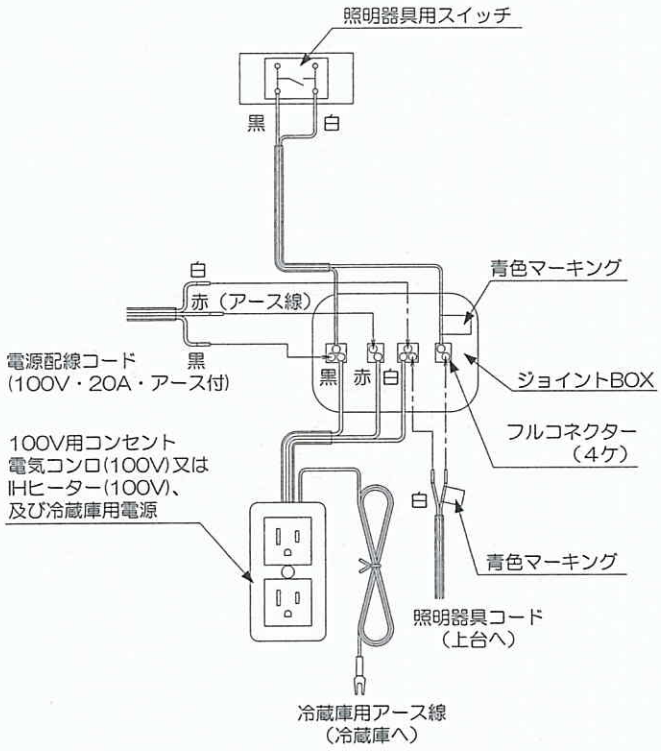
ご注意：フルコネクターへの差し込み電線のストリップ長さは、１０mmにしてください。また、差し込みは奥いっぱいまで行い、裸線が見えないようにしてください。接続ミス等で配線をやり直す場合は、引き抜いた線を切り落とし、再度ストリップをやり直してください。

図６：電気配線の接続



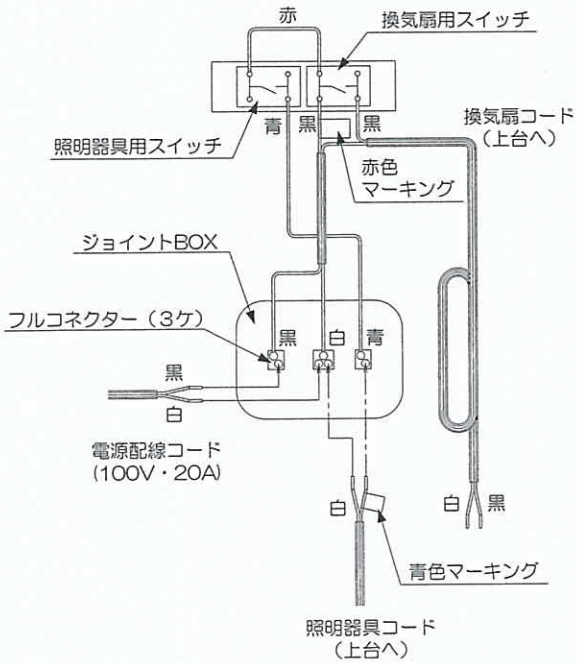
配線組合せA

・換気扇付き、冷蔵庫対応ありの場合
・換気扇付き、冷蔵庫対応なし
かつ
100V用電気コンロ・ＩHヒーターの場合



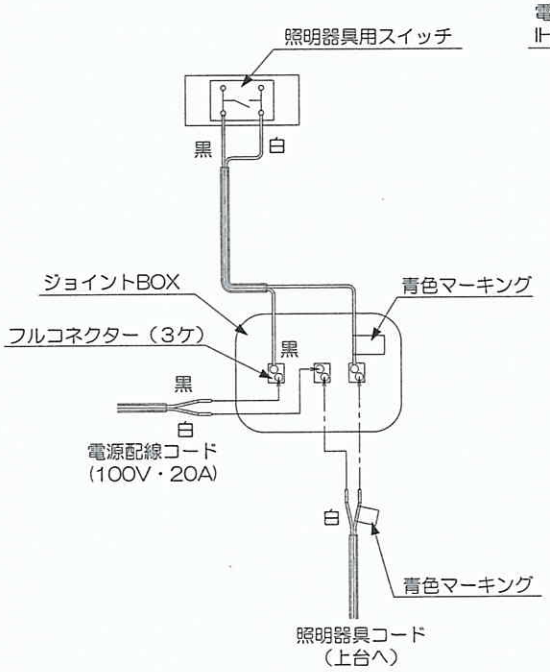
配線組合せC

・換気扇なし、冷蔵庫対応ありの場合
・換気扇なし、冷蔵庫対応なし
かつ
100V用電気コンロ・ＩHヒーターの場合



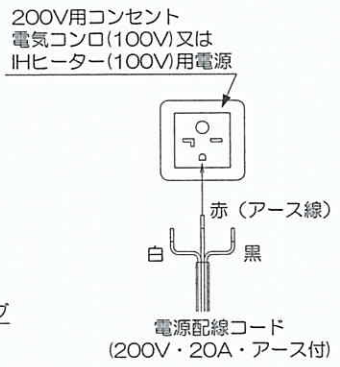
配線組合せB

・換気扇付き、冷蔵庫対応なし、
かつ
200V用電気コンロ・ＩHヒーター
又はガス器具の場合



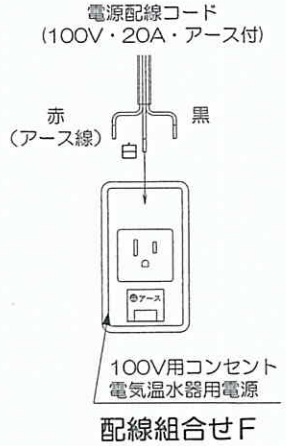
配線組合せD

・換気扇なし、冷蔵庫対応なし、
かつ
200V用電気コンロ・ＩHヒーター
又はガス器具の場合



配線組合せE

200V用電気コンロ・
ＩHヒーター設置の場合



配線組合せF

電気温水器設置の場合

○矢印にしたがって配線コードを接続してください。
○コンセントは当該機器以外には使用しないでください。

7．排水部品の取付

○排水トラップにフレキシブルパイプが付いている場合

排水フタの切り込みを広げ、排水トラップに接続されているフレキシブルパイプに通してください。
フレキシブルパイプを排水管に接続し、排水フタを裏面の両面テープでキャビネット底板に貼り付けてください。

ご注意：フレキシブルパイプと排水管の接続部は、テープ等で密閉してください。悪臭、水漏れの原因になります。

○排水トラップに直管アダプターが付いている場合

排水フタの切り込みを広げ、排水管に接続されている排水パイプに通し、裏面の両面テープでキャビネットに貼り付けてください。
排水パイプを直管アダプターで、排水トラップに直接接続してください。

ご注意：排水部品に潤滑油や洗剤等を塗布しないでください。樹脂部に亀裂が入り、水漏れする恐れがあります。

○電気温水器（オプション）設置する場合

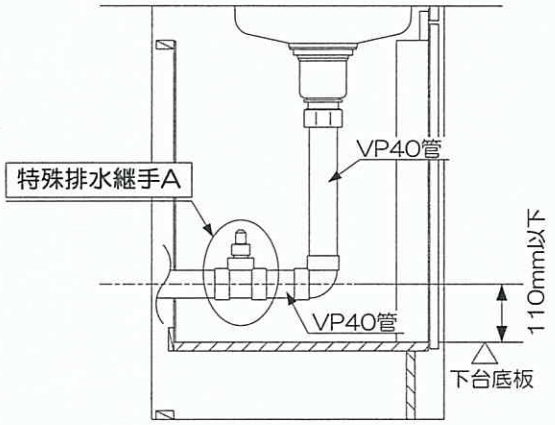
特殊排水継手を製作する必要があります。配管方法により必要となる特殊排水継手が異なりますので、下記にしたがい製作してください。

※電気温水器とは別途に準備する部品

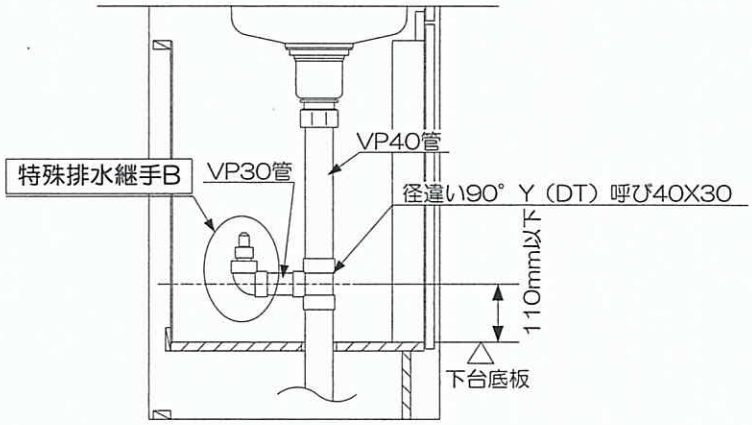
・排水セットＥＨ（内容物：排水アダプターＥＨ、排水ホース２m）
※排水ホース2mは電気温水器付属部品の排水ホースで長さが足りない場合に使用してください。
・VP40、VP30、90°エルボ（DL）呼び30、90°エルボ（DL）呼び40、
径違い90°Y（DT）呼び40X30…配管方法によって必要部材・必要数が異なりますので配管例を参考にそれぞれ決定してください。

※排水セットＥＨを使用しない場合は、下記の部品を準備してください。
・リンナイ製　排水分岐管φ４０用：KWP-452B-40…１個
・KVK製　水きり：ZK53-15…１個

※各部品の接続には、塩ビ管用の耐熱接着剤を使用してください。



排水配管施工例A
背板に排水を抜く場合

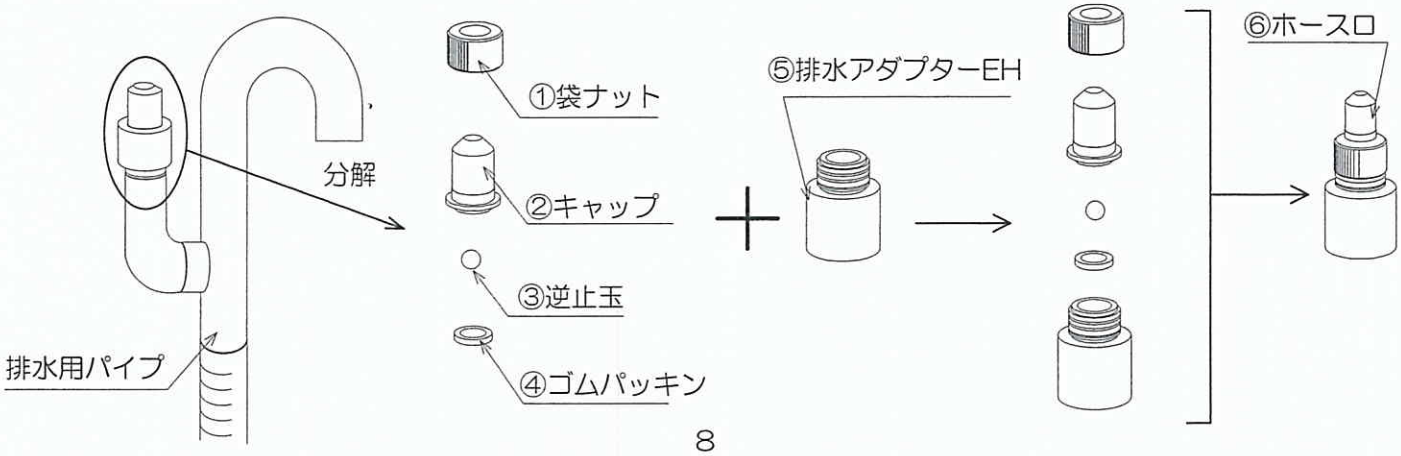


排水配管施工例B
底板に排水を抜く場合

【排水セットEHを使用する場合】

①ホースロの製作（特殊排水継手Ａ・Ｂ共通）

1．電気温水器の付属部品の排水用パイプを分解してください。
2．②キャップの中へ③逆止玉を入れて、①袋ナット、④ゴムパッキン、⑤排水アダプターEHを取付てください。



②特殊排水継手の製作

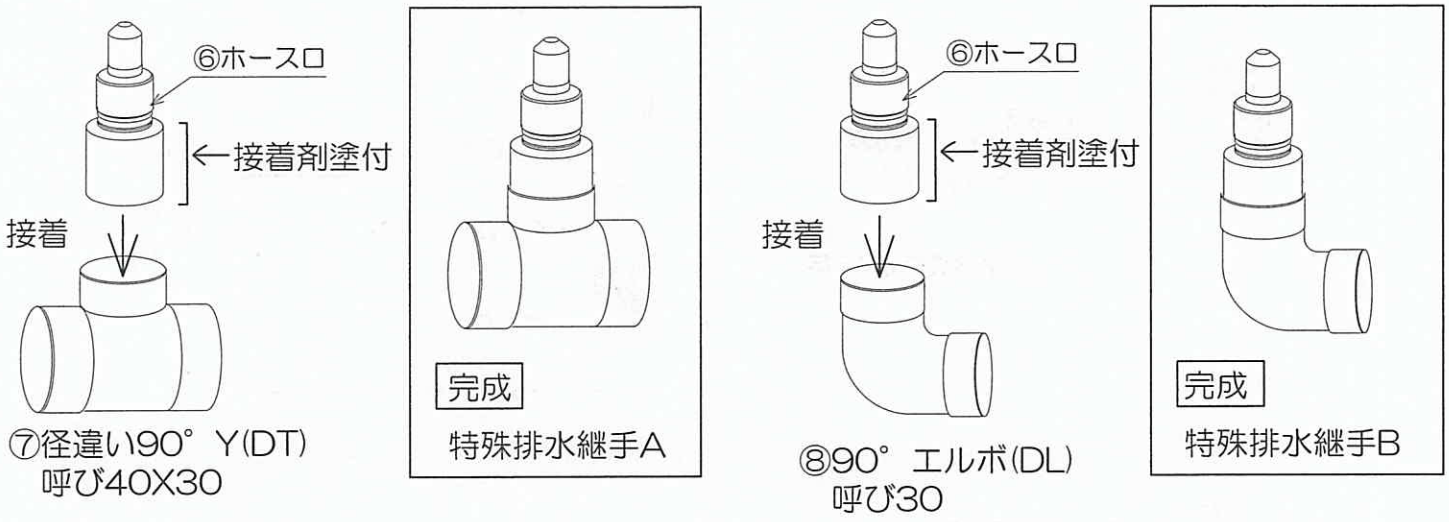
・特殊排水継手Aの場合

別途用意した⑦径違い90°Y（DT）呼び40X30に⑥ホースロを取付てください。

・特殊排水継手Bの場合

別途用意した⑧90°エルボ（DL）呼び30に⑥ホースロを取付てください。

※接着剤は塩ビ管用の耐熱接着剤を使用してください。



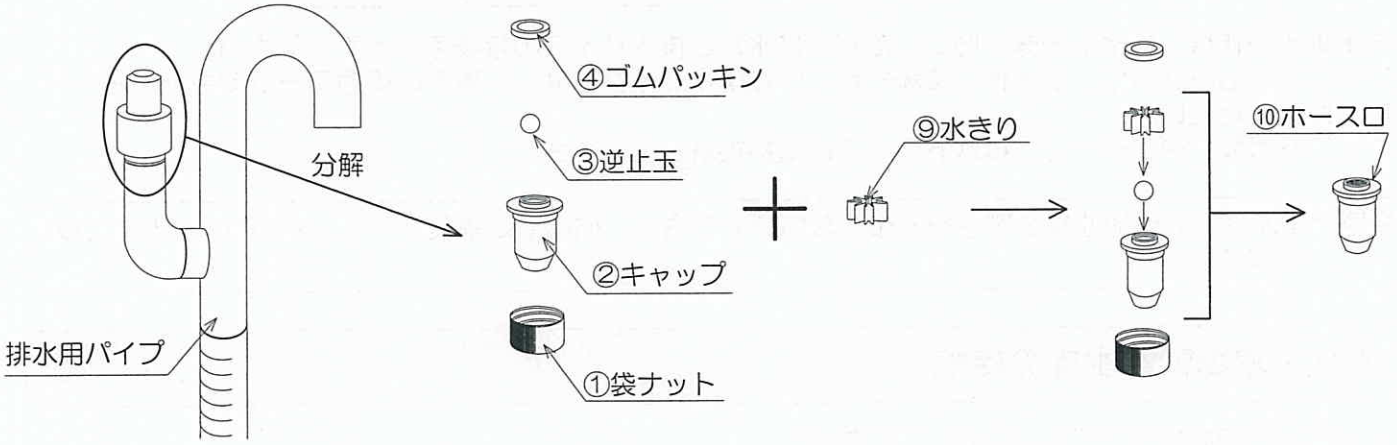
【排水セットEHを使用しない場合】

①ホースロの製作（特殊排水継手A・B共通）

1．電気温水器の付属部品の排水用パイプを分解してください。

2．②キャップの中へ③逆止玉を入れて、⑨水きりを②キャップの中へ入れこんでください。
（⑨水きりは②キャップへ全体が入る程度まで入れ込んでください。）

3．⑩ホースロが完成したら④ゴムパッキンを取付てください。

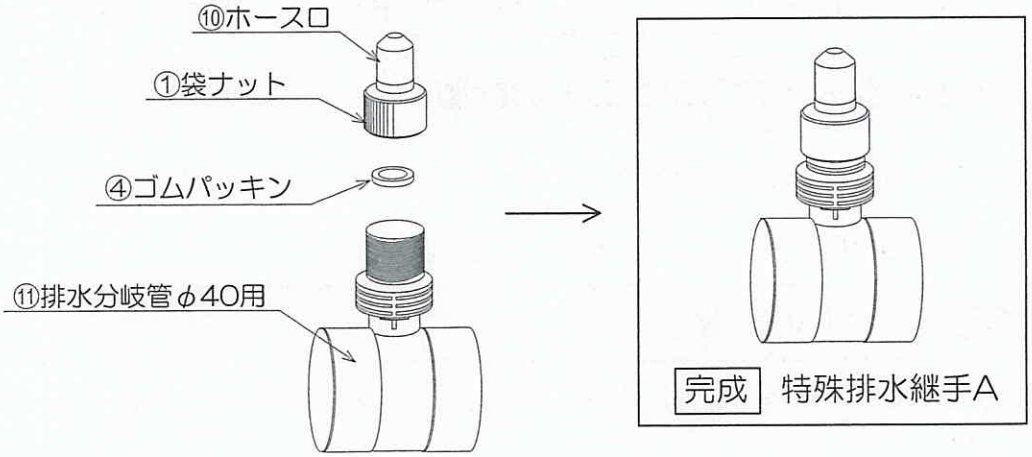


②特殊排水継手の製作

・特殊排水継手Aの場合

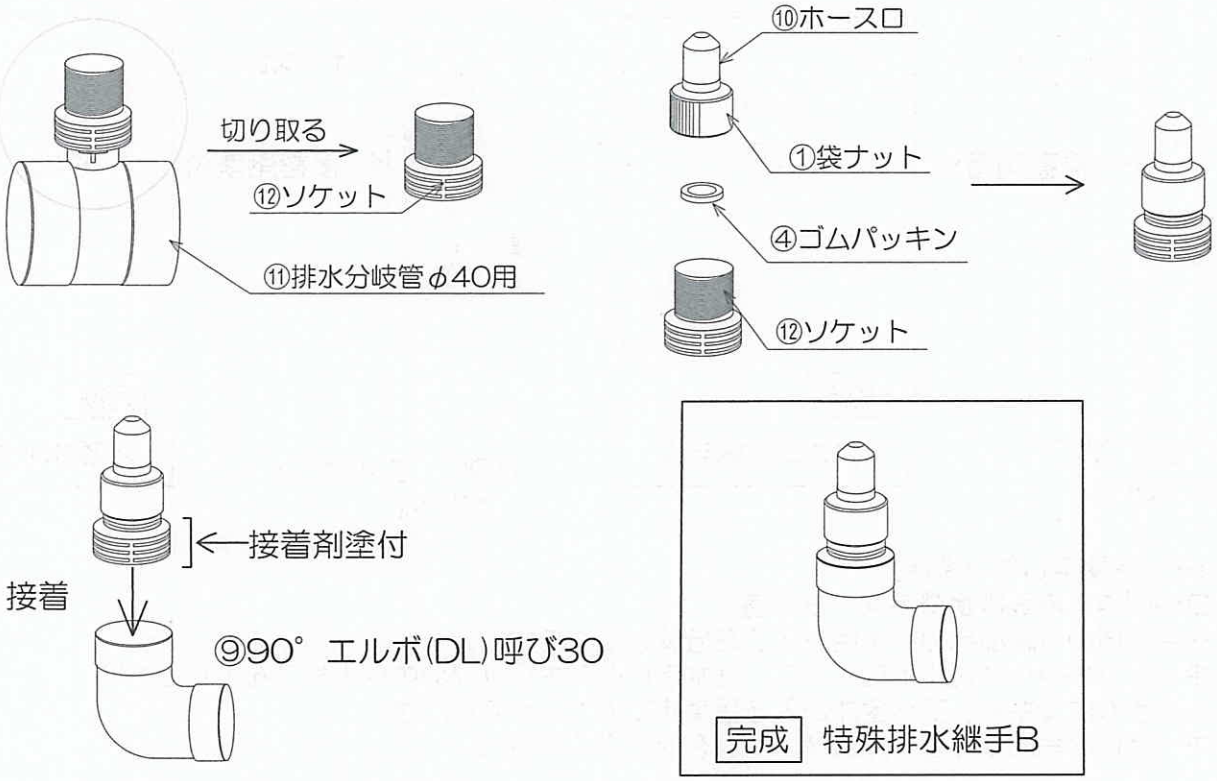
別途用意した⑪排水分岐管φ４０用に①袋ナットと⑩ホースロを取付てください。

※④ゴムパッキンも必ず取付てください。



・特殊排水継手Ｂの場合

1．別途用意した⑪排水分岐管φ４０用のネジ部の⑫ソケットを切り取ってください。
2．切り取った⑫ソケットに①袋ナットと⑩ホースロを取付てください。
※④ゴムパッキンも必ず取付てください。
3．別途用意した⑨９０°エルボ（ＤＬ）呼び３０へ⑫ソケット部を接着してください。
※接着剤は塩ビ管用の耐熱接着剤を使用してください。



特殊排水継手製作後、排水配管施工例にしたがい排水管と排水パイプの接続を行ってください。
排水フタの切り込みを広げ、排水管に接続されている排水パイプに通し、裏面の両面テープでキャビネットに貼り付けてください。
排水パイプを直管アダプターで、排水トラップに直接接続してください。

ご注意：排水部品に潤滑油や洗剤等を塗布しないでください。樹脂部に亀裂が入り、水漏れする恐れがあります。

8．給水・給湯管と水栓の接続

・工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
・キャビネット背板の点検口フタをはずして、給水・給湯管と水栓を接続してください。
※電気温水器を設置する場合は、電気温水器の施工説明書にしたがって、給水管の接続をしてください。
・工事終了後は点検口フタを取り付けておいてください。

ご注意：パッキンは、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
金属製のナット類は十分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因になります。

9．加熱機器（ＩＨヒーター・ガスコンロ）の設置

ＩＨヒーター・ガスコンロそれぞれの設置説明書にしたがって、ワークトップに設置してください。

※電気コンロの場合は、はじめからワークトップに組付けてあります。

１０．冷蔵庫（オプション）の設置

電源プラグを１００Ｖ用コンセントに差し込み、アース線を接続した後、冷蔵庫を加熱機器下の冷蔵庫スペースに設置してください。

１１．電気温水器（オプション）の設置

電気温水器の設置説明書にしたがって、キャビネット内に設置してください。

5. 仕上げ

【１．清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【１．安全点検】

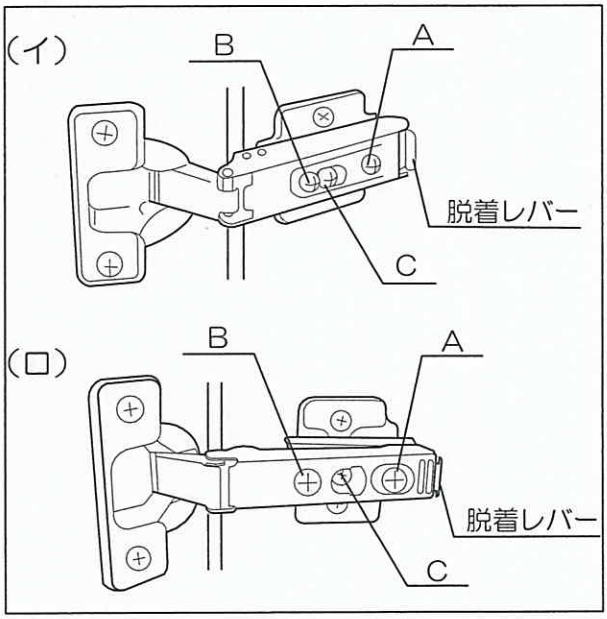
①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。ある場合は下記の要領にしたがって調整して下さい。

※丁番には(イ)(ロ)の2タイプがあります。

●扉ガタツキの修正
Aのネジをしっかり締め込んでください。
●扉の前後方向の調整
Aのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
●扉の左右方向（段違い）の調整
Bのネジの締め込み代で調整してください。
●扉の上下方向の調整
Cのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。
注）調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

＊調整には＋ドライバーが必要です。



②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③水栓の確認

水栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分洗い流したあと整流網をもと通りに取り付けておいてください。

【２．組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【１．商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【２．取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネット内に収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【３．梱包材その他工事部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL ０６－６９６２－１５３１

10150799
1L-5